

平成22年度 学校経営計画

1 目指す学校像

本校創立の精神「自彊不息」を拠り所とし、特色ある教育活動を展開する中で、「豊かな人間性」と「社会の進展に主体的に対応できる能力」を培い、「知・徳・体」のバランスがとれ、自立心と思いやりの心を持った、地域で活躍する人材を育む学校を目指す。

具体的には、

- (1) 安全で快適な教育環境の中で、生徒と教師の信頼関係のもと、生徒は学ぶことに徹し、教師は教えることに徹することで「確かな学力」を保障する学校
- (2) 生徒が三ヶ日高校を誇りに思い、自主的・積極的な活動が見られる、活力に満ちた学校
- (3) 生徒一人一人の興味と関心に応え、主体的にそれぞれの夢を育み実現させる学校
- (4) 地域のニーズに対応し、地域に愛され信頼される、地域に根ざした学校

2 中期的目標

(1) 【本校のよさの維持・発展】

本校の内部環境（生徒、教職員、予算等）及び外部環境（地域、教育行政、経済環境等）の急激で大きな変化に適切に対応しつつ、本校のよさ（少人数教育、普通科のコース制、地域との連携など）を維持し、更に発展させる。

(2) 【生徒の育成】

工夫のある授業や特別活動を通じて生徒の意欲を高め、学力・体力を伸ばすと共に、社会生活に必要な能力を育て、自ら進路を切り開く力が持てるように指導する。

(3) 【教職員の協働】

教職員一人一人が、自らの専門性や技能を生かすことで相互の理解を図ると共に、組織内の役割を自覚し、校内の様々な諸組織が有機的に機能するように協働する。

(4) 【保護者・地域との連携】

保護者や地域住民との様々なコミュニケーションの機会を生かして相互理解を深めると共に、地域の持つ力や特性を取り入れた授業や学校行事等を工夫し展開する。

3 今年度の重点目標（学校経営目標）と方策

(1) 本校のよさを生かした学校づくり

(方策)

ア コース制の充実

- 新教育課程の検討
- 各コースの実習内容の充実
- 研究発表（学習発表会等）の工夫

イ 学校行事の活性化

- 行事の精選及び開催時期・内容等の検討
- 生徒が主体となる企画・立案等の工夫（委員会の参画等）

ウ 生徒一人一人に対応した進路指導

- 「総合的な学習の時間」等での進路指導の工夫
- 進路希望に応じた面談や進路ガイダンスの実施

エ 部活動の充実・活性化

- 少人数のデメリットをメリットにする工夫

オ 保護者・地域との連携

- 中学校向け「三高ニュース」の配布（年4回）
- 保護者向け「三高通信」の発行（年4回）
- 地域向け「三高新聞」の発行（組内回覧、中学生には全員配布、年6回）
- 三ヶ日地区連携指導三項目の強化
- JA三ヶ日との協力（みかん講話、選果場見学、有線放送の活用等）
- 学校HPの更新<http://www.shizuoka-c.ed.jp/mikkabi-h/>（随時）
- 地域防災訓練への参加促進（70%以上）
- PTA行事の充実（総会出席60%以上、地区会出席80%以上）

(2) **学力・体力を伸ばす**

(方策)

ア **学習習慣の定着**

- 全校漢字テスト実施（毎週月曜日）
- 週末課題の実施
- 家庭学習時間調査の実施及び家庭との連携（学期1回）
- 基礎体力の向上に向けた指導法の工夫（新体力テストB以上を目指す）

イ **自己表現力を伸ばす授業**

- 各教科における話し合いの時間確保と実践・研究（週2回以上）
- 生徒の言語活動を重視した授業の実践
- 生徒による授業評価の実施（年2回）

ウ **教職員の研修機会の拡充と知識の共有化**

- 公開授業月間の設定（年2回）
- テーマを設定した校内研修の実施（年3回）

(3) **社会生活に必要な能力の育成**

(方策)

ア **基本的な生活習慣の確立**

- 身だしなみ指導の実施（各学年月1回程度）
- 遅刻・欠席を減らす（遅刻1人1回以下、皆勤80人以上）

イ **マナー・ルールの遵守**

- 始業時の着席指導（毎日）
- 交通指導や交通安全教室の実施

ウ **生活環境の自主的な改善**

- 浜名湖クリーン作戦など環境美化の実施（生徒会や学年で実施）
- 生徒によるゴミ処理活動・清掃点検等の実施
- 自然体験活動の充実（浜名湖の環境調査、みかん園作業）

エ **キャリア教育の推進**

- 高大連携事業や職場見学の実施
- 卒業生等の体験座談会の実施

オ **生徒相談体制の充実**

- スクールカウンセラーとの連携（月1回）
- 生徒サポート委員会の開催（随時）
- 保健室来室者記録等の情報共有

(4) **校内各組織における業務の適正化・効率化**

(方策)

ア **組織を動かすための「報告、連絡、相談」の励行**

- 重要事項について全職員の共通理解を目指す
- 分掌・学年・部活動等の組織間の連携を目指す

イ **適切で効率的な事務処理**

- 予算の直接事業費の配分率15%以上
- 常に問題意識を持ち、1人1改革に取り組む

ウ **設備・施設の適切な管理・運営**

- 除草・樹木の手入れ（計画の80%以上）
- 修繕箇所・危険箇所の早期発見・迅速な補修

(5) **図書室の利用促進**

(方策)

ア **図書室の整備・充実**

- 新規受け入れ1000冊、廃棄500冊
- 授業等利用のための図書充実

イ **教員の関わり・生徒の関わりを増大**

- 授業等における利用促進（年50回）
- クラスへの貸出（各クラス年3回）

ウ **貸し出し増加の工夫**

- 教員・生徒参加による「図書だより」の発行（年20回）
- 図書室展示の工夫

エ **読書習慣の育成**

- 朝読書の実施（毎朝）
- 読書調査の実施（「読書好き」60%以上）